

# 世田谷・九条の会

世田谷・九条の会

ニュース No.41

2016年4月5日発行

(題字 西山簡石)

●事務局 〒154-0017 世田谷区世田谷 1-11-16 世田谷民商気付

Tel:03-6413-9547 Fax:03-6413-9548 Mail:setagaya-9jou@kzh.biglobe.ne.jp

●ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~setagaya-9jou>

●郵便振替口座 記番号 00110-5-260741 世田谷・九条の会

## 人間性をゆがめた国民学校～天皇のための「少国民」作り

酒井 弘道

私は1936年生まれ。1943年に国民学校に入学しました。国民学校は1941年から6年間だけ存在した学校制度です。教育の目的は、皇国民の錬成～天皇のために生きる人材を作ることでした。国語、修身、音楽の教科書の内容の半分は皇室崇拜と戦争賛美で、教科書に登場する男の子は全員軍人志願でした。

国民学校を巣立った男子には、直後に兵士になる道が用意されていました。当時、国民学校は初等科6年の上に2年間の高等科が併設されていて、その子どもたちに、「14歳から兵士になれる！」という大宣伝が「少国民新聞」等を通して行われました。少年戦車兵、少年飛行兵、「満蒙開拓青少年義勇軍」など、国民学校は軍隊直結でした。

1945年4月、国民学校初等科以外の授業が停止され、軍需工場等で働く「学徒動員」が行われました。教育は放棄されたのです。私は縁故疎開先の山口県光市にいました。家から8kmの間人魚雷を作っていた海軍工場の、敗戦前日の8月14日に空襲され、738人が犠牲になりました。その中に、近隣の中学校、高等女学校、国民学校高等科の学徒136人がいました。動員学徒の「戦死」ですが、学校の記念誌等は殆ど触れていません。事実が埋もれているのです。

大空襲の翌日が「まさかの敗戦」。何週間かすると、突然、先生たちの言うことが変わりました。アメリカは素晴らしい国で、日本はとんでもなく悪い国だったというのです。ラジオも新聞も、180度変わったのです。私はこの時から、「大人は信用できない」と思い定め、大事なことは自分で考え、判断することにきめて、そのように生きてきました。

大人不信の中で、私たちが嬉しかったことが二つありました。一つは、「これからは、学校も民主主義になるんだ」といって、先生が、子どもの意見を授業や学校行事に生かそうとしてくれたのです。もう一つは、物心ついた時から、戦争の中にいた私たちの世代にとって「もう戦争はないんだ」ということです。本当に嬉しいことでした。平和と民主主義が実現して行くことを、実感したのです。

(弦巻・新町九条の会)

# 「戦争法」廃止 2000 万人署名、2,300 筆突破

## 世田谷区内九条の会

3月28日現在、世田谷区内の九条の会の署名集約数は、2,376筆になりました。目標は10,000筆ですので、まだ23%を超えたところですが、ここに来て、代沢から739筆、代田から434筆などまとまった数の署名が寄せられています。街頭での署名活動では、1時間ほどの取り組みで1人あたり5筆前後ですが、最近では、とくに署名しながら、長時間話し込んで来る人が増えて来ているという印象があります。

これに関連して地域九条の会や個人で多くの署名を集められた人の経験をお聞きすると、バス亭で並んでいる人に声かけする、知り合いに署名用紙を同封した手紙を送る、署名用紙を近所に配布し、自宅のポストに届けてもらうなどの工夫で大きく広げることができたということがあります。ここには、署名を訴える人の輪を広げたという効果とともに、話を良く聞き、訴えをよく読み、自宅でじっくり考えて署名に踏み切るという層が開拓されていることが現れているように思えます。

今、安倍自公政権は、甘利大臣の受託収賄容疑や大臣等の暴言・失言が相次ぎ、原発再稼働方針、実質賃金の継続的低下、TPPさらに、奨学金や保育園待機児童問題で、国民との認識とのずれ・矛盾がこれまでになく大きくなっています。一部メディアの勇気ある報道も加わって、今国民の意識は、街頭署名で見られる以上に大きく揺り動かされているのではないのでしょうか。来る参院選挙での野党統一は大きな広がりを見せています。表からは見えない深いところで安倍自公政権の退陣を迫る大きなうねりが生まれていることを、署名活動を広げることで捉えていくことが必要ではないのでしょうか。

## 「戦争させない！9条こわすな！世田谷連絡会」が統一行動

### ○2月7日 区内三駅での一斉街頭宣伝署名活動

世田谷連絡会では、2月7日（日）に、三軒茶屋、下北沢、千歳烏山各駅の駅頭で一斉署名活動を展開しました。この行動には世田谷地区労・世田谷区労連、1000人委員会、せた連、九条の会ほかの労働団体、市民団体と、安保法制の廃止に賛同する区議会各会派の議員ら134名が参加しまし



た。この行動では、総がかり行動実行委員会作成のちらし 1,800 枚が配布され、集まった署名は 314 筆に及びました。当日下北沢駅北口では、同時間帯に気仙沼市の物産フェアが開催されていて、大変な人ごみと焼き牡蠣の香ばしい香りの中での行動となりました。週末の街頭は若者が多く、残された期間はこうした若い層への働きかけがとくに重要な課題と感じられました。

## ○ 3 月 19 日 世田谷区民集会 & パレード

安保関連法制強行採決から半年の 3 月 19 日（土）、午後 1 時から日比谷野音



で集会が開かれるのにあわせて、連絡会は、昨年 9 月 12 日に引き続く区民集会とパレードを開きました。当日は世田谷区民会館中庭が先約で使えなかったために、小田急線梅が丘駅そばの羽根木公園で朝 10 時からと変則的でしたが、夜来の雨について、200 名を超える参加者がありました。集会は、大東学園

の若手教員の司会で進められ、保坂区長の連帯あいさつ、また区議会の共産、民主、社民、生活者ネット各会派の区議や都議が、並んで一言あいさつされたほか、衆議院議員（維新の会）からメッセージがよせられました。また各界からの訴えでは、新婦人の会、世田谷・九条の会、世田谷 1000 人委員会、勝手連（せた連）、弁護士が発言し、集会アピールを拍手で採択したのち、東松原方面と豪徳寺方面の 2 コースに分かれてパレードしました。新婦人の会からは、5,000 筆の署名目標に対して、4,363 筆に達したという力強い報告がありました。



世田谷・九条の会の吉原公一郎代表は、戦時中の自身の勤労働員の経験に触れ、二度と同じ過ちを繰り返してはならないと訴えました。世田谷 1000 人委員会の代表は、格差をなくして社会保障を充実して社会を安定させることこそ“積極



的平和主義”であるのに、アベノミクスはまぎやくの政策を推し進めていると批判しました。せた連は、国会議員への要請行動の経験を紹介し、普段着で国会に出かけ、有権者の声を議員に直接届けようと呼びかけました。児玉弁護士は、今、安保法制の違憲訴訟を準備しているので、多くの方に原告団に加わってほ

しいと訴えました。

集会参加者の多くは、午後からの日比谷野音での集会に合流しました。日比谷野音での集会には5,600人が参加。ようやく雨が上がり、東京での署名集約数が500万筆を超えたという報告に大きな拍手があがっていました。参加者は、フライヤーを掲げてのコールの後、銀座方面に向けてパレードしました。

## 739筆の署名一辺野古からも100筆余が届いていますー

### 代沢九条の会

代沢九条の会は、強行採決に先立つ昨年9月に、安保法制法案の廃案を要求する、自前の声明を233名(地域外25名を含み実名166名)の賛同を得て発表しました。会ではこの賛同者に2000万人署名用紙を届け、拡散を呼びかけました。呼びかけにこたえて、地方に住む親、兄弟、知人まで署名用紙は届けられ、沖縄辺野古からの100余筆を含め、全国から署名が集まりました。この成果は3月半ばまでに739筆の署名の集約につながっています。会では目標を3,000筆として、駅、街中での署名活動も引き続き進めていきます。

## 2000万署名で戦争への道ストップ！野党共闘プラス国民の運動で戦争法廃止、立憲主義の回復を実現させよう！

### 憲法9条に愛され、憲法9条を愛する烏山地域の会

烏山地域では、地域から2000万署名の達成めざして年金者組合烏山分会、新日本婦人の会烏山ブロック、さよなら原発！烏山地域の会、憲法9条を愛する烏山地域の会の四団体の共同で署名活動を進めています。2



月半ばで112筆です。3月19日の千歳烏山駅前行動では、22名の参加で59筆の署名が集められました

(写真)。いま全国各地で2000万署名をベースに戦争法廃止と立憲主義の回復を掲げた広範な国民的な運動、野党共闘が進行。夏の参議院選挙に向け統一候補の擁立も急速に進められています。野党共闘プラス国民の運動で政治の転換が期待されています。国会で多数を獲得すれば戦争法は廃止できます。自民公明政権が狙っている海外での戦争を止めさせましょう。国会で改憲を公言している安部首相、憲法を

尊重しない首相は退陣させましょう。烏山地域のみなさん、重ねて署名用紙をお届けします。署名集めにご活用ください。一人でも多くの方に勧めて下さい。地域から戦争法廃止、立憲主義の回復の大きな運動をつくりましょう。

- 烏山月例ピースパレード (13:45～ りんれい広場集合)

4月17日(日) 午後2時出発

- 第47回近現代史を読む会

4月13日(水) 午前9時45分～

会場； 烏山区民センター第6会議室 参加費 200円(資料代)

第46回読む会(2/10)には16名が出席。第22章日米安保体制と高度成長「民族独立の大きなうねり」の項に進み、戦後史の大きな節目となった1955年前後の歴史的諸事件とその背景を学びました。

特に植民地の独立による非同盟諸国運動の世界史的な意味を深めました。次回第47回は、引き続き22章「高度成長と日本社会の変貌」の項で60年代の経済発展について学びます。第48回は、5月11日を予定しています。



問い合わせ先 安藤 03-3309-5776

- 憲法記念日 in 烏山 記念の集い

5月3日午後1時30分～ 烏山区民センター集会室

講演「中東の今と日本・戦争法」

- 「9の日」宣伝の予定 4月9日、4月19日、千歳烏山駅前

## 月2回の街頭署名活動を軸に640筆

### 代田九条の会

代田九条の会は、月に2回、下北沢のスーパー前で署名宣伝を行っています。毎回10名近くの会員が参加して、会ののぼりと、ポスターを掲げながら、ハンドマイクを使い、休日の買い物時に行き交う市民に呼びかけてきました。1回の行動では毎回数十筆が集まっています。また、署名用紙を同封した手紙を知人に送付し、最大100筆以上の署名を集めた会員もいます。会として3月24日現在で合計640筆に達しました。これからも2,000筆を目標にさらに頑張っていこうと考えています。

## 代田九条の会の当面の行動予定

- 署名行動 下北沢オオゼキ前

4月17日(日) 16:00~17:00

- 横須賀の戦争遺跡見学会

4月10日(日)

午前8時半 井の頭線・下北沢駅(西口) 集合

旧海軍の遺跡を見学し、案内してくれる地元の九条の会のみなさんと交流します。

- 憲法記念日によせて(計画中)

5月7日(土) 13:00~16:00 ころ 場所: 下北沢ナザレン教会

講演: 森孝博さん(弁護士・渋谷共同法律事務所)

合唱: 東大原コーラス



## 戦争法廃止、憲法九条を守りぬくために

### 大東学園九条の会

大東学園では、2月8日の九条の会アピールや1月に出た私学九条の会・東京のアピールを受けて、学園九条の会が会長、事務局長連名で職場へ署名を訴える文書を掲載したニュースを発行。職場全体に配布し、合わせて教職員組合、講師会、理事会など学園関係諸団体にも協力を要請しました。すでに教職員組合の呼びかけで職場での署名はひと回りしていますが、今回は以下のようなアピールを出し、「1人1枚(5人分)以上」「年度末までに全体で1,000筆を目標に」と提起し、さっそく20枚ほどが集まっています。当面は幅広い協同をめざして署名のお願いを続けるとともに、学習会や街頭署名など、運動が目に見えるような企画を検討しています。

## 菱山南帆子さんを招いて講演会を開催

### 桜丘9条の会

桜丘では、3月27日に国会前のコールで大活躍の菱山南帆子さんをお招きして、講演会を開きました。参加者は33名、うち10名が初めての参加でした。菱山さんは、中学2年のときに、米軍のイラク侵攻(2003)に反対するピラを校内でまき、米大使館前に大人に交じって座り込みしていたそうです。「昨年9月19日は国会正門前で一夜を明かしたが、敗北感はなくむしろすがすがしい気持ちだった」といい

ます。「60 年安保の時は『地域に持ち帰らなかった』という体験者の話を紹介し、今回は、九条の会にみられる地域に根差した草の根運動が底力となっている。」と話されました。

2000 万署名も楽しくやらねばと、提起、「歌や紙芝居、のぼり旗など、工夫を凝らして行おう、5 月 3 日の憲法記念日には有明の公園を、6 月 5 日の市民総決起行動には、各々の会場をいっぱいにしよう」と呼びかけました。桜丘 9 条の会では、2000 万署名を 30 筆集め、引き続き頑張っています。



## 吉原公一郎さん頑張る！

会の呼びかけ人代表の吉原さんは、ご近所に 2000 万人統一署名用紙と以下のお手紙を同封して配り、これまでに 50 筆を超える署名を集めておられます。お手紙の実物は、手書きで、ご夫妻の署名がつけられています。

署名活動にご協力いただけませんか。

かつてインドシナ戦争のとき、ディエンビエンフーの戦いでフランス軍が包囲され、アメリカは原爆の投下を考えました。当時日本ではヒロシマ・ナガサキについて、ビキニの原水爆実験で三度目の被爆をし、原水爆禁止運動がおこり、その署名運動によってアメリカの原爆使用を断念させました。署名運動というのはその位効果があるものなのです。

私は戦争の悲惨さを身をもって体験した世代です。

いまの安倍政権は、いまの日本国憲法は、占領軍によっておしつけられた憲法だから日本独自の憲法の改める必要があるとっています。しかし、日本国憲法は鈴木安蔵さんらの憲法研究会が独自につくった憲法草案を下敷にしたものです。しかも、当時の首相幣原喜重郎がマッカーサーに戦争の放棄を提案したことによって作られたのです。このことは私は芝居にして上演もしております。

日本では戦後七〇年、一人の戦死者も出さず、外国兵一人も殺さずにきました。

しかし、改憲を主張する安倍政権は集団的自衛権の行使容認を閣議決定し、いままた米国の戦争に自動的に参戦する安保体制を強行可決しました。日本は二度と戦争してはいけない。武力ではなく、ねばり強い話しあいで戦争を避けることはできる。それは私たちの信念です。署名活動が政治を動かすことができる、それが私の信念です。どうか、この署名活動にぜひご賛同いただけるようお願いいたします。また、ご家族だけでなく、お知り合いの方にもお願いして下さるようお願い申し上げます。なお署名用紙は吉原の郵便受けに入れていただければ有難いです。

## 当面の行動予定

- 大学門前での宣伝行動
  - 4月7日(木) 15:00~16:00 東京農大正門前
  - 4月14日(木) 15:00~16:00 駒澤大学正門前
  - 4月15日(金) 14:00~15:00 国士舘大学区民館側
- 生かそう憲法!今こそ9条を!世田谷の会 街頭宣伝活動
  - 4月11日(月) 18:00~19:00 明大前駅
  - 5月9日(月) 18:00~19:00 豪徳寺駅
- 明日を決めるのは私たち 平和といのちと人権を!『5・3憲法集会』
  - 5月3日(祝) 13:00~ 有明防災公園
- 戦争させない!9条こわすな!世田谷連絡会
  - 5月16日(月) 19:00~20:30 東京土建世田谷支部(予定)
- 「生かそう憲法」世田谷の会総会
  - 5月20日(金) 18:15~20:45 世田谷区民会館集会室

## 事務局から

- ◆ 世田谷・九条の会の事務局の家賃、電話料金、ニュースやちらしの印刷・配送・郵送費は、皆さんからの賛同金(年1口1,000円)と事務所維持会費(月1口500円)でまかっています。振込用紙を同封しますので、ご協力をお願いします。

- ◆ 2000万人署名は5月3日が最終集計日で、4月末日がめどとなっています。あらためて本号ニュースに署名用紙を同封しますので、あとひとまわり署名を広げていただき、できるだけ早くお届けくださるようお願いいたします。



- ◆ 世田谷区での2000万人署名の全目標150,000筆を達成するために、世田谷革新懇が呼びかけて推進委員会が作られ、毎週委員会を開き、ニュースを発行しています。推進委員会のホームページは、<https://sites.google.com/site/zhanzhengfafeizhishitiangu/>です。